

“もっと”知って欲しい、“みなみ”の想い

もっと みなみおおさか

食道裂孔
ヘルニアの豆知識

看護部ニュース

誤嚥性肺炎と
オーラルフレイル

地域医療部

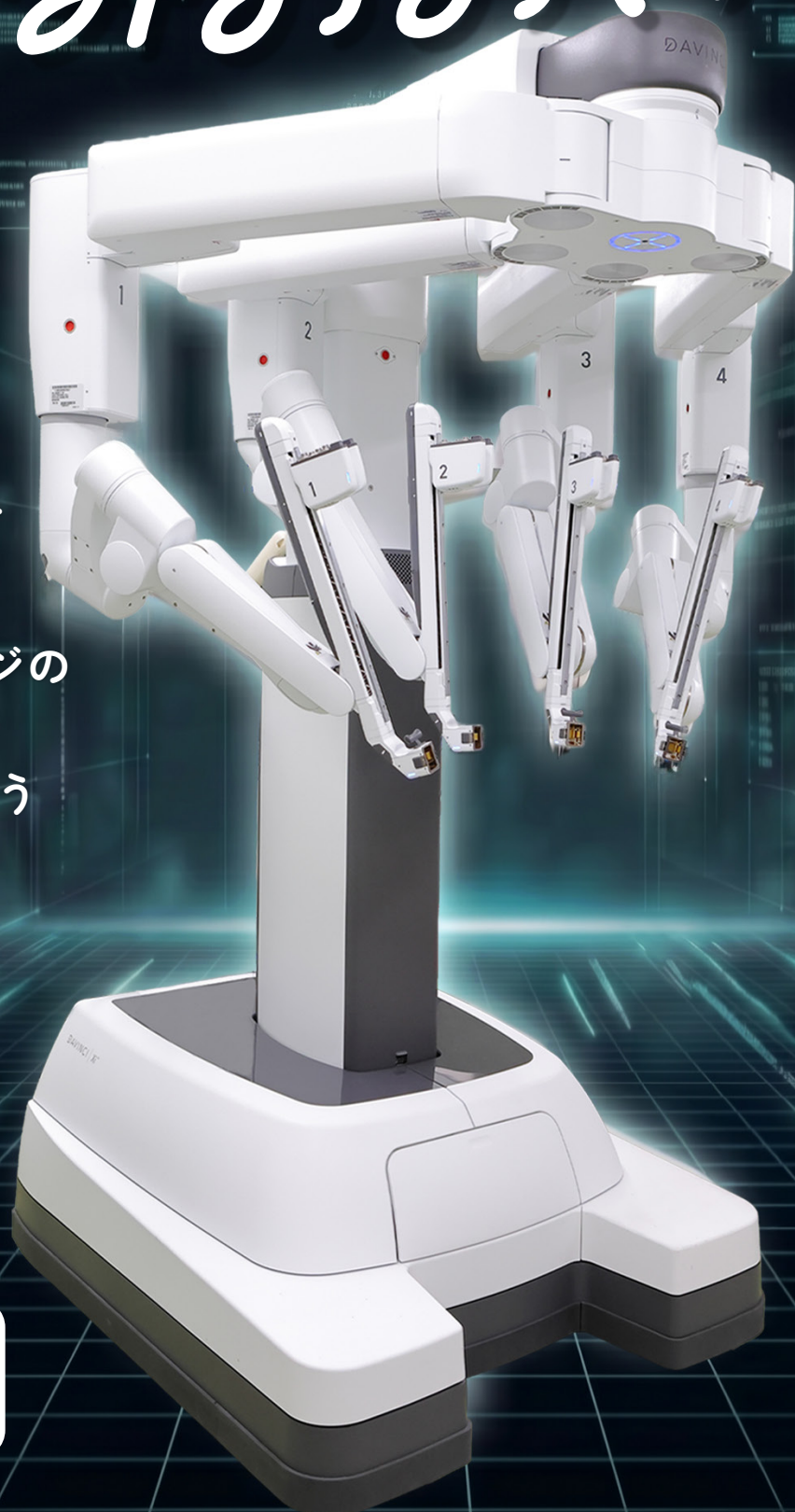
当院ホームページの
ここに注目

ミネラルを補おう

南大阪病院健康
フェスタ2026

職員リレーコラム
新人医師紹介
登録医紹介
地域医療

南大阪病院 ロボット手術センター
—特集— 最新の医療を、もっと身近に。



ロボット手術センター

最新の医療を、もっと身近に



近年、がん治療における手術療法は、患者さんの身体的負担をいかに軽減し、精緻な根治を目指すかという「低侵襲化」が大きな潮流となっています。ロボット手術センターは、こうした高度な医療ニーズに応え、地域の皆さんが住み慣れた地域で最先端の治療を安心して受けられる体制を整えるため設立されました。

ダビンチ手術を一言でいうと？

「お腹を切らずに、小さな穴から、医師の『分身』が入り込んで行う精密手術」

従来の開腹手術と、腹腔鏡手術の良いところ取りをしたのがロボット手術です。



当院では、地域の皆様により安全で体への負担が少ない手術を提供するため、手術支援ロボット「ダビンチ (Da Vinci Xi)」を導入し、ロボット手術センターの管理のもと、外科・泌尿器科が様々な手術をロボット支援下に行なっています。

ロボット支援手術は、「ロボットが自動で手術をするの？」と不安に思う方もいらっしゃるかもしれませんが、決してそうではありません。ロボット支援手術とは、熟練の医師が高度なロボットシステムを操縦することで行う「従来の腹腔鏡手術を上回る、より精緻な腹腔鏡手術」のことです。

ロボット支援手術の3つの安心

1. 傷跡が小さく、痛みが少ない

お腹を大きく切るのではなく、数センチの小さな穴を数か所開けるだけで手術を行います。そのため、術後の痛みが大幅に抑えられます。

2. 出血が少なく、体にやさしい

人間の手以上の可動域を持つロボットアームと、高精細な3Dハイビジョンカメラにより、肉眼では見えない細かな血管や神経を避けた、極めて精密な手術が可能で、体に余計な負担をかけません。

3. 早期の退院・社会復帰ができる

体へのダメージが少ない分、回復が非常に早くなります。「仕事に早く戻りたい」「普段の生活を大切にしたい」という患者さんの願いに寄り添った医療です。

小さな傷跡、早い復帰。ダビンチが変える、手術のあとの毎日。

Recovery Pathway



出血・痛みが
少ない

翌日からの
歩行・食事

早期の退院

早期の
社会復帰

安全を守るための多角的な取り組み

ロボット手術センターは、医療の質を高い水準で一定に保ち、持続的に向上させるための司令塔としての機能を担っています。センターでは、以下の3つの観点から「組織としての医療」を追求しています。

1. 標準化と安全性

各診療科における術式を標準化し、術者の経験に依存しすぎない、常に一定の質の高い手術を提供します。

2. 教育と育成

新規ロボット術者のトレーニングを厳格に管理します。単に技術を教えるだけでなく、定期的な「評価・監査(モニタリング)」を実施し、客観的な視点から安全性を検証し続けます。

3. 運用と広報

手術室の効率的な運用により、一人でも多くの患者さんが早期に手術を受けられる環境を整えるとともに、地域住民の皆さんへ正しい情報を提供します。

「評価・監査」や「育成」を組織の核に据えることは、単なる効率化ではありません。それは、たとえ術者が変わっても変わらない「持続可能な安全」を実現するための手段のひとつです。



ロボット手術センターの特長

ロボット手術センターでは、外科と泌尿器科を中心に、高度な技術訓練を受けた専門チームが手術を担当いたします。我々は、単に最新の機械を導入するだけでなく、患者さん一人ひとりの不安に寄り添い、納得して治療を受けていただけるような、「最先端の技術」と「温もりのある医療」の両立を目指した手術を提供できるように心がけています。

手術実績と信頼の証：数値で見る安全性

当センターでは、開設以来適応疾患を広げ地域の方々のニーズに応えられるように体制構築を進めています。

【診療科と対象疾患】

外科・・・結腸がん・直腸がん・胃がん

泌尿器科・・・前立腺がん・腎がん

累計症例実績 (2025年12月時点)

当院では、現在まで合計206例のロボット支援手術を安全に完遂しております。

外科(計149例)

結腸・直腸がん 122例 / 胃がん 27例

泌尿器科(計57例)

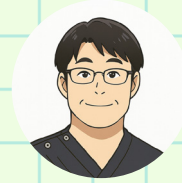
前立腺がん 51例 / 腎がん 6例

ご相談・お問い合わせについて

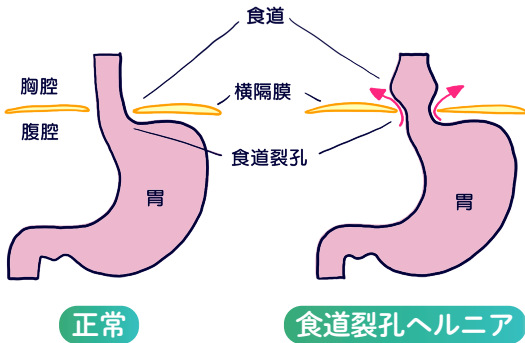
「自分の病気はロボット手術で治せるの?」「費用はどれくらいかかるの?」といった疑問をお持ちの方は、まずは当院の担当医または予約センターまでお気軽にお問い合わせください。私たちは地域の皆様が安心して治療を受けられるよう、全力でサポートします。



食道裂孔ヘルニアについての豆知識(5) —手術後の経過について—



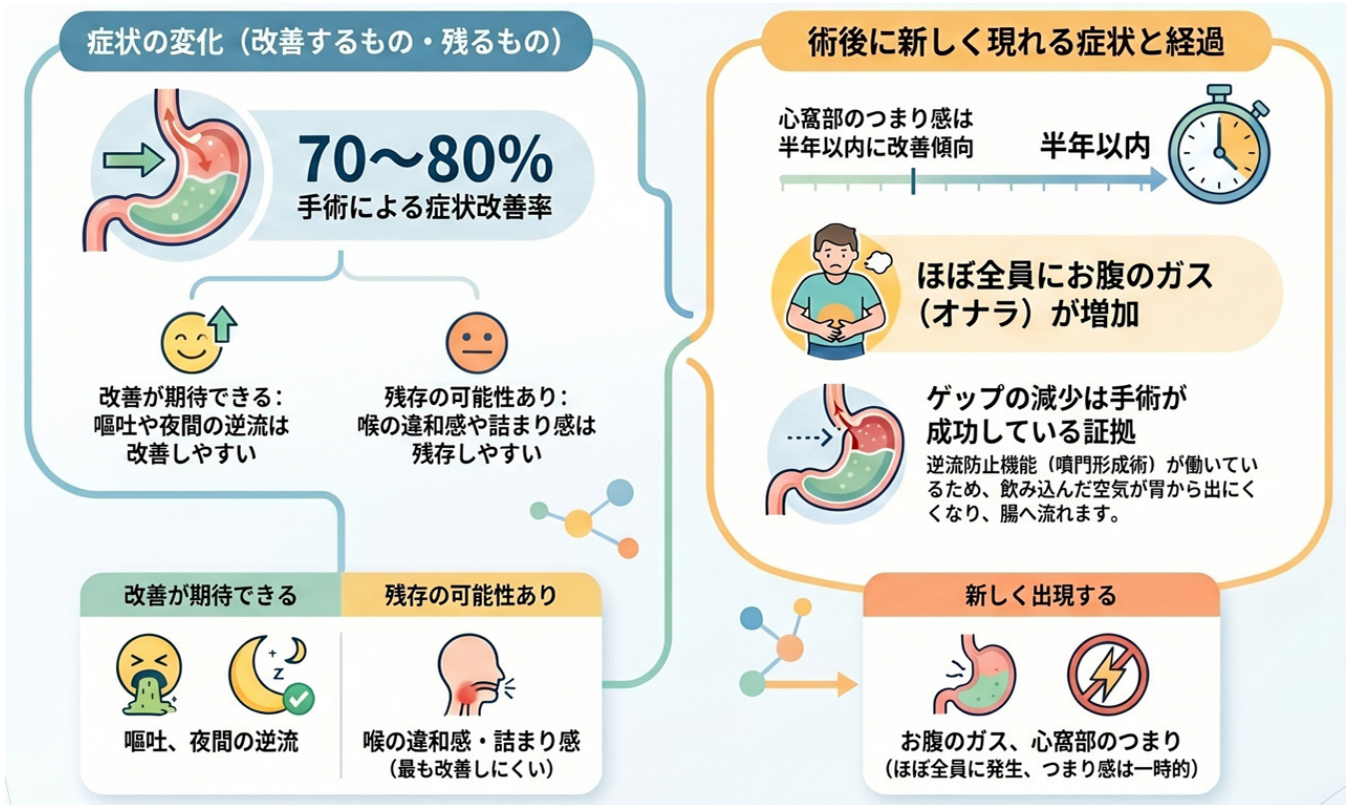
南大阪病院
外科統括部長
副院長
竹村 雅至



食道裂孔ヘルニアは食道裂孔が開くことにより胃の位置が変化することを指しています。

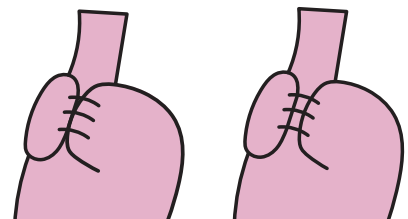
当院では様々な内科的治療でも症状の持続する食道裂孔ヘルニアを有する方に外科的治療を適応しており、手術件数は年間60件程度です。手術により術前にあった様々な症状の70～80%程度は改善しますが、やはり術後も持続する症状や術後に新たに出現する可能性がある症状があります。

手術後の症状



食道裂孔ヘルニアを修復する際に胃から食道への逆流を抑制する手術(噴門形成術)は同時に必ず行う手技なので、腸への空気の流入を止めることはできないことと、一方でそれが逆流をしっかり抑制できているという目安になります。食道裂孔ヘルニアに対する手術は生活の質を向上できる可能性がある手術ですが、やはりそれだけでは全てが改善できません。ご不明な点は外来担当医にお尋ねください。

噴門形成術



Nissen法

胃を食道に
360度巻き付ける

Toupet法

胃を食道に
270度巻き付ける



「南大阪病院 健康フェスタ2026」に参加して



この度、本院としては初めての試みとなった「南大阪病院 健康フェスタ2026」を4月18日「すみのえ舞昆ホール」にて開催いたしました。当日はたくさんの市民の方々にご参加いただき、本院のことをより深く知っていただく良い機会となりました。

今回の大きな目的のひとつに、本院が誇る医療技術を身近に感じていただくことができました。本院で導入した手術支援ロボット「ダヴィンチXi」の紹介や、大学病院に勝る件数を施行している内視鏡のシミュレーター体験、救命処置体験などを実施することで具体的なイメージを持っていただくとともに、地域に根ざした中核病院としての役割をご理解いただけたのではないかと考えています。

●スペシャルゲスト登壇

医療講演ではスペシャルゲストに元阪神タイガーズの原口文仁氏をお招きし、本院の荒川特別顧問と福田院長もまじえ、「健康啓発と予防医療の普及について」座談会が行なわれました。原口氏のお話は、ステージ3bの大腸がんを克服した実体験にもとづくもので、参加者のこころに深く届きました。



●健康フェスタ2026を振り返って

初めての開催であり、緊張感や不慣れな点もあったとは思いますが、本院スタッフと地域の方々との交流の場を得ることができ、我々も手応えを十分に感じたところです。さらに、イベントをとおしスタッフ同士のつながりや、他職種とのチームワークの重要性を感じることができました。

検査や手術・入院は普段の生活からはかけ離れ、また苦痛や不便を感じるものです。今回のような交流を通じて、本院スタッフの人となりを知っていただくことで、そのような不安な気持ちを少なくすることができればと思います。

最後になりますが、次回の開催は今回得られた課題も踏まえて、さらに良い催しとなるよう尽力して参ります。



誤嚥性肺炎って？

誤嚥性肺炎や肺炎は、合わせると日本人の死因で高い位置にある命に関わる病気です。その誤嚥性肺炎を発症する原因としては、誤嚥(唾液や飲食物が何らかの理由によって、気管を通して肺に入ってしまうこと)で起こってしまいます。その要因としては、脳疾患などの病気によるものや高齢になるにつれての口腔や咽喉頭の筋力低下、口腔内環境が悪い(虫歯など)ことによるものなど様々あります。



オーラルフレイルかどうかチェック!

チェックしてみよう!

質問	該当	非該当
① 自身の歯は、何本ありますか? (さし歯や金属をかぶせた歯は、自分の歯として数えます。インプラントは、自分の歯として数えません。)	0~19本	20本以上
② 半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか?	はい	いいえ
③ お茶や汁物等でむせることがありますか?	はい	いいえ
④ 口の渇きが気になりますか?	はい	いいえ
⑤ 普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか?	はい	いいえ

左の5つの質問のうち、**2つ以上に該当する場合はオーラルフレイルです**

特に誤嚥は、喉の筋力低下が要因と思われる方が多いですが、口腔の筋力低下や口腔内の環境による影響も非常に大きいです。最近、口の中に食べ物が残るようになった、柔らかい食べ物ばかり食べるようになった、呂律が回りにくく感じる、よく話を聞き返されるようになったなどがあればオーラルフレイルの入り口にいるかもしれません。オーラルフレイルは、口まわりのちょっとした衰えのことです。誤嚥の要因にもなるため注意が必要です。左図にオーラルフレイルの簡易チェックを載せていますので一度チェックしてみてください。

定期的に歯科医院を受診してチェックを受けましょう。
口からおいしく食べる生活を続けて健康を維持しましょう。

参考:オーラルフレイルに関する3学会合同ステートメント
(一社)日本老年医学会・(一社)日本老年歯科医学会・(一社)日本サルコペニア・フレイル学会 2024年4月1日

【出典】
奈良県公式ホームページ
<https://www.pref.nara.lg.jp/n002/66779.html>

オーラルフレイルの予防

オーラルフレイルを予防することは、誤嚥性肺炎を予防することにも繋がりますし、食事を美味しく食べることを続けられることにも繋がります。オーラルフレイルは予防することが可能です。右図にオーラルフレイルの予防になる運動を載せていますので、参考に見てはいかがでしょうか。チェックで引っかかってしまった方やお口の心配事があれば一度受診をお勧めします。

【出典】
日本歯科医師会「オーラルフレイル対策のための口腔体操」
https://www.jda.or.jp/oral_frail/gymnastics/

① お口・舌の動きをスムーズにする体操

効果 唇やほほ、お口周りや舌の筋力をアップすることで、お口の機能が高まり、唾液がよく出るようになり、舌がなめらかに動いて食べ物を飲み込みやすくなります。お顔の表情もイキイキしてきます。

(唇を中心とした) 口の体操

①口をすぼめる。②「イー」と横に開く。

(唇と) ほほの体操

水は、大さじ1程度
ほほを膨らませた後、すぼめるといふ動きを数回する。(水はなくてもOK)

舌の体操 (舌圧訓練)

①舌を左のほほの内側に強く押しつける。
②自分の指で、口の中の舌の先を、ほほの上から押さえる。
③それに抵抗するように、舌をほほの内側に、ゆっくり10回押しつける。
④舌のほほでも同じこと繰り返す。

パタカラ体操

①「ハ」…唇をはくように
②「タ」…舌先を上の前歯の裏につけるように
③「カ」…舌の奥を上顎の奥につけるように
④「ア」…舌をまるめるように
各発音 8回を2セット行う。

唾液腺マッサージ

- 耳下腺マッサージ**
指数本を耳の前(上の奥歯あたり)に当て、10回ほど円を描くようにマッサージしていく。
- 顎下腺マッサージ**
顎のラインの内側のくぼみ部分 3~4か所を順に押しつけていく。目安は各ポイントを5回ほど。
- 舌下腺マッサージ**
顎の中心あたりの柔らかい部分に両手の親指を揃えて当て、10回ほど上方向にゆっくり押し当てる。

公益社団法人 日本歯科医師会



つなぐ仕事「地域医療部」のご紹介

「地域医療部」は主に、紹介患者の受け入れを円滑にする「地域医療推進室」:前方連携と、退院後の生活や転院を支える「医療福祉相談室」:後方連携の二つの部門に分かれています。

病院と地域をつなぐ架け橋：地域医療部の役割

地域医療推進室 (前方連携・渉外)

スムーズな受診・入院の調整

かかりつけ医からの紹介を受け、最適な診療科への受診予約や入院調整を迅速に行います。



病院の「強み」を地域へ発信

ロボット手術や専門外来などの最新情報をかかりつけ医に伝え、地域連携を深めます。

公開講座・講演会の運営

地域住民向けの健康講座や、医師向けの勉強会を開催し、地域全体の医療の質向上に貢献します。



部署名	主な役割 ターゲット
地域医療推進室	前方連携(紹介受入)・渉外 かかりつけ医・地域住民
医療福祉相談室	後方連携(退院・転院支援) 入院患者・転院先施設

医療福祉相談室 (後方連携)



切れ目のない退院・転院支援

入院中の患者さんが退院後も適切な医療や介護を受けられるよう、転院先や在宅ケアを調整します。



MSWによる専門的な生活相談

医療ソーシャルワーカーが、病状だけでなく経済面や家族背景を考慮し、患者さんに寄り添います。

● 地域医療推進室の取り組み

「地域医療推進室」では、地域のクリニックからご紹介頂いた患者さんの情報を受け、できるだけ早く、適切な診療科に外来受診や入院など調整してつなぐ業務を行っています。医師や看護師など、複数の部門の担当者として調整しながら入院や受診予約を決めて行く必要があるため、時間を要することもあります。かかりつけ医の元で、患者さんや家族の方が待たれていることもあるかと思いますが、そんな時、我々は紹介元医師や患者さんのことを考え、病棟や外来など院内を奔走している姿を思い浮かべて頂ければと思います。

また、近隣の医療機関を訪問して自院の最新治療を共有する渉外活動や、地域住民の方々向けの公開医療講座の運営などを通じて、病院と外部をつなぐ窓口としての機能も担当しています。

● 医療福祉相談室の取り組み

「医療福祉相談室」では、医療ソーシャルワーカー(MSW)が患者さんの病状だけでなく、家族構成や経済状況なども含めて総合的に判断し、入院中の患者さんが退院後も途切れることなく医療・介護を受けられるよう、適切な転院先(病院や施設)やかかりつけ医へとつなぐ業務を担当しています。

このように地域医療部は医療機関同士をつなぎ役として、地域全体で患者さんを支える業務に携わっています。



NEWS ~広報委員会からのお知らせ~

当院ホームページのここに注目

こんにちは、南大阪病院 広報委員会です。私たちは南大阪病院の魅力を幅広く知っていただくために様々な活動を行なっています。広報委員会ではホームページや広報誌、SNSを通じて当院の最新の情報を常に発信しています。

当院広報誌は平成16年3月(2004年)よりデジタル院内広報誌「どうする みなみおおさか こうしょう みなみおおさか」として発行され、2008年の19号からは「もっと みなみおおさか」として現在88号まで継続して発行されています。最近では、写真やイラストを多く使用し、親しみやすく読みやすい紙面を目指して改善を行なっています。是非当院広報誌を手にとってご一読ください。



バックナンバーを **CHECK**

<https://minamiosaka.or.jp/pr/prdl/>

最近改訂されたページを **CHECK**



部門ページ
放射線科

<https://minamiosaka.or.jp/dep-div/dep-div-1700/>

当院で放射線検査に使っている様々な機材の説明だけでなく、当院の放射線検査の件数について詳しく見ていただけます。



コラム
放射線科コラム

<https://minamiosaka.or.jp/column/>

検査や放射線科からのお知らせを掲載しています。院内で手にとって見ていただけるように、「放射線科だより」も各所に設置していますので是非ご覧ください。



THANKS

広報用写真への写真応募のお礼

この度は広報委員会で企画した『あなたのスマホで眠っているイチオシ写真、送って下さい!』にご応募をいただきありがとうございました。



1位『福井県小浜市田島 棚田』

今回が初開催となりましたが、おかげさまで、たくさんのご応募をいただきました。入賞作品の選考を広報委員会で実施し、



1位『福井県小浜市田島 棚田』



2位『大阪市 大阪湾』・『愛媛県今治市大三島 藤棚』



3位『吹田市 遊歩道1』・『ひまわり畑1』

と決定しました。広報用に使用させていただきます。作品応募いただいた皆様方には、心からお礼申し上げます。また、様々な企画を考えていますので、皆様のご協力よろしく申し上げます。

夏バテの黒幕は“ミネラル不足”！？ ～今日から正しくミネラルを補いましょう～

ミネラルは健康維持に重要！

栄養をとっているのにだるい…。それ、“ミネラル不足”かもしれません。ミネラルは、炭水化物・たんぱく質・脂質を体の中でしっかり働かせるための“サポート役”。不足すると、せっかくの栄養もうまく活かされず、だるさや疲れやすさに繋がり、夏バテの原因にもなります。



夏に意識したいミネラルは？ どんな食材に含まれているの？

ナトリウム(Na)

体内の水分と塩分のバランスを調整し、適度に摂ることで水分の吸収を助ける

食塩(KやMg等のミネラルを含む「天然塩(海塩)」がおすすめ

カリウム(K)

尿の排出を促し、体内の熱を逃がして体温調節に役立つ

野菜・果物・豆・芋類
きのこ類・海藻類など

マグネシウム(Mg)

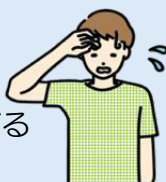
心臓や筋肉の働きと電解質(Na・K)のバランスを整える

海藻類・穀物・豆類・ナッツ類(アーモンド)など

“汗＝塩分(ナトリウム)補給”は間違い？

汗で失われるのはナトリウムだけではありません。

カリウムやマグネシウムなども体の外へ出てしまいます。それぞれに大切な役割があるため、いろいろなミネラルをバランスよく補うことがポイントです。少しの汗で塩分を摂りすぎると、高血圧をはじめとする生活習慣病のリスクにも繋がるため、適量を心がけましょう。



夏の食事で効率よく摂るポイント



調理法を工夫

「煮る・蒸す」で栄養まるごと◎味噌汁やスープなどの汁物*も、ミネラルを余さず摂取できます♪電子レンジや蒸し器を活用すると暑い夏に台所に立つ時間も減らすことができ、時短にも繋がります。*汁物は塩分が多い為1日1回までにしましょう。

旬な食材を積極的に選ぶ



夏野菜には、暑さを乗り切るために必要なミネラルやビタミンがたっぷり。トマトや胡瓜、オクラ、ピーマン、みょうが等、お店に並ぶ旬野菜を積極的に選びましょう♪



場面に合った水分補給をしましょう

場面	特徴
軽い外出や日常生活	基本的に水またはお茶
たくさん汗をかいた時	電解質(Na・K)を含むもの
運動量が多い、又は長時間の活動	電解質+適度な糖分を含むもの(糖分濃度4.5%以上)
体重や血圧が気になる方	基本的に水またはお茶/「カロリーゼロ」と表示されているもの

スポーツドリンクと経口補水液の違い



運動時や汗を多くかいた時の水分・電解質・糖分の補給に適している。



電解質(Na)が多い為、重度の脱水時に適しており、糖分は少なく体に吸収されやすい。

日常的な水分補給に飲む場合は水かお茶を選びましょう。



なるべく複数の品目を摂る

一品料理でも使う食材の種類を増やせば、バランスよく栄養補給ができます。例えば、麺類には野菜や卵、ツナ、納豆などを加えると栄養価がアップ◎旬野菜に加えてたんぱく質食材もプラスしましょう♪

※持病のある方や食事制限のある方は、かかりつけ医または管理栄養士にご相談ください。

TOPICS

「南大阪病院健康フェスタ2026」

4月18日(土曜日)に舞昆ホール(住之江区民ホール)にて、「南大阪病院健康フェスタ2026」を開催しました。本イベントは、地域住民の皆様の健康意識の向上と予防医療の普及を目的として企画したもので、十分な周知が行き届かない中ではありましたが、158名の方にご来場いただきました。

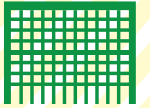
会場は体験エリアと相談エリアを設け、体験エリアでは最新の内視鏡検査装置や腹腔鏡手術シミュレーターを用いた医師体験、AEDを用いた救命処置体験などを実施しました。さらに、顕微鏡による細胞観察、超音波による骨の健康評価、乳がんの硬さ体験、タブレットで行う脳体力測定など、計13の多彩なプログラムを通じて、楽しみながら学べる機会を提供しました。



舞台では福田院長による病院紹介、竹村・中谷医師の紹介、藤井住之江区長のご挨拶に続き、ABCラジオパーソナリティ「てっちゃん先生」こと荒川特別顧問によるトークショーを開催しました。さらに、元阪神タイガース選手の原口文仁氏を迎えた鼎談(ていだん)では、プロ野球での経験や大腸がんを乗り越えた体験、現在の思いについて語っていただき、参加者・スタッフともに検診の重要性を改めて認識する機会となりました。

初の大規模開催となりましたが、多くの笑顔と「次回も参加したい」とのお声をいただき、今後の継続開催に向けた大きな手応えを得ることができました。





職員の“あんなコトこんなコト”をリレーで綴る

職員リレーコラム

こんにちは、今年4月から主任を拝命いたしました、
医事課の伊豫谷です。



私の現在ハマっている趣味はソフトボールです。昨年4月より、子供の進学に伴ってPTAのチームに参加し、試合に出場したところ、そのまま一般のチームにお呼ばれするようになりました。今月は月に1・2試合と、たまの週末練習に参加しています。ソフトボールは小学生以来となりますが、打順は1番から6番まで、守備も外野全般、ファースト、ピッチャーと、文字通りまんべんなく守らせてもらっています。

参加している内には、本当に良いこともあれば悪いこともあります。良いことといえば、ホームランを打ったり、セーフティーバントが決まったりしたこと。相手から「その体型でバントは無いわ!」と驚かれたり、守備機会が何度もありながらノーエラーで過ごせたりした日は最高です。対して悪いことは、とんでもない「一人劇場」をしてしまう日があることです。ピッチャーで投げたは15四死球で13失点に絡んだり、



外野を守れば前進してキャッチしたはずのボールがグローブから弾け飛んでエラーになったり。実はこれらがすべて「一つの試合」で起こってしまったこともありました。こうした悪いことばかりの日には、敵味方関係なくひたすら頭を下げに行きます。そんな中、ある選手から「ソフトボールをしていたら、良いことも悪いこともある。大事なものは続けることだよ」と言われ、そりゃそうだと深く納得しました。その言葉を胸に、次の登板や打席の機会に備えて、今日も毎朝練習してから出勤しています。

今年も新しい仲間が
やってまいりました！

新人医師紹介

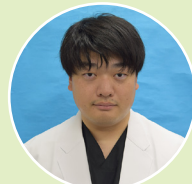
患者さんに向けた
メッセージです。
皆さま、よろしく
お願いいたします♪



内科(腎臓内科) 【専門領域】
腎臓内科/人工透析

ソネ カズマ
曾根 一真

2026年4月より南大阪病院で働くことになりました腎臓内科医の曾根 一真と申します。今までは大阪公立大学病院で働いておりました。腎臓の病気というのは、突発的に発症するタイプを除き、自覚症状なく徐々に進行し、何もせず気づいた時には透析一步手前ということもありうる点が怖いところです。また、長年付き合っていくかねばならない病気でもあります。健診などを利用して定期的に尿検査・腎機能検査を受けておくのがとても大事です。そしてちょっとでも異常があれば、かかりつけの先生に相談するか、気兼ねなく当院に直接お越しください。腎臓を長持ちさせるために一緒に頑張っていきたいと思います。



内科 【専門領域】
糖尿病

ハヤシ マサトシ
林 正俊

2026年度4月より南大阪病院に赴任いたしました内科医の林正俊と申します。患者さんが安心して相談できるよう、丁寧に分かりやすい診療を心がけてまいります。住之江の皆さまのお役に立てるよう、誠実に診療に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



内科 【専門領域】
一般内科、老年内科、
糖尿病

ハマザキ ケンジ
濱崎 健司

住之江区生まれ住之江区育ちです。自分自身が患者としてお世話になっていた南大阪病院で医師として働けることを非常に嬉しく思っています。内科一般の外来診察のほか救急対応も行います。患者さんひとりひとりが安心して最善の医療を受けられるよう、地域医療に貢献できるように精進いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科 【専門領域】
消化器

ハラダ ユウスケ
原田 優介

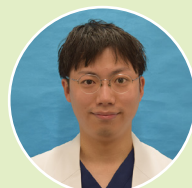
お困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科 【専門領域】
消化器内科一般、
消化器内視鏡

ナカヒラ アキオ
中平 晶雄

2026年4月より南大阪病院 消化器内科に赴任しました中平 晶雄と申します。これまで、大阪市立総合医療センター、石切生喜病院で消化器領域の診療に携わってきました。地域の患者さんのため精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願いいたします。



消化器内科 【専門領域】
内科一般、消化器内科

タバタ ヒデタカ
田端 秀崇

皆さんはじめまして、2026年4月から南大阪病院消化器内科に参りました田端 秀崇と申します。外来診察はもちろん、内視鏡検査も行っております。主にお腹回りの症状でお困りのことがあればどうぞお気軽にご相談下さい。皆様より健康で快適な毎日を過ごせるよう私も一緒に頑張りますので、どうぞ宜しくお願いします。



外科 【専門領域】
一般外科、消化器外科、
肝胆膵外科

コウダ マサキ
江田 将樹

丁寧な説明を心がけています。些細なことでも質問ください。病気の理解を深めていただき、今後にお役に立てたいと考えております。



外科 【専門領域】
一般外科

ノハラ ユウスケ
野原 佑介

2026年4月より南大阪病院 外科に赴任いたしました野原 佑介と申します。これまで培った知識と技術で患者さんにより良い医療を提供いたします。地域の皆様のお役に立てるよう頑張っております。何卒よろしくお願いいたします。



整形外科 【専門領域】
整形外科一般、外傷

タナカ ヒデヤ
田中 秀弥

患者さん個々にとってよりよい医療を提供できるよう努めます。何卒よろしく
お願い致します。



乳腺外科 【専門領域】
乳腺疾患

タカダ コウジ
高田 晃次

はじめまして。2026年4月より、南大阪病院の乳腺外科に赴任しました 高田晃次 です。以前
までは、大阪公立大学医学部附属病院や石切生喜病院、和泉市立総合医療センターなどで
乳腺疾患を専門に勤務してきました。乳ガンは、女性がかかる癌で断トツに多く、今や9人に1人
がかかる病気となっております。乳ガンはどの年代にも発症することがありますが、適切な治療
を行えば根治する可能性が高いガンとも言われております。乳ガン検診異常はもちろん、
何か乳房に気になる点がありましたら、遠慮なくご連絡ください。真摯に対応させていただきます
と考えております。どうぞよろしく願いいたします。



形成外科 【専門領域】
形成外科一般

ノムラ マイ
野村 麻衣

2026年4月より南大阪病院 形成外科に赴任しました野村麻衣と申します。
より良い医療を提供できるよう努めてまいりますのでどうぞよろしくお願い
いたします。



耳鼻咽喉科 【専門領域】
耳鼻咽喉科・頭頸部外科・
特に嗅覚・味覚障害

アイバ ツネマサ
愛場 庸雅

耳鼻咽喉科の取り扱い範囲は非常に広く、脳と目を除いた首から上のほとんどの病気を見て
いると言っても過言ではありません。赤ちゃんから老人まで、急性から慢性まで、良性の病気
から癌などの悪性の病気まで、薬での治療から手術まで、すべて取り扱っています。南大阪
病院では、マンパワーと設備の点からそのすべてをカバーすることは困難ですが、地域にお
ける耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域全般の初期診療に対応します。手術も可能で、鼻疾患、
良性腫瘍などを中心に行っております。耳、鼻、のどの困った症状があれば、お気軽にご相談
ください。



耳鼻咽喉科 【専門領域】
耳鼻咽喉科一般

ヒロナカ マリ
弘中 まり

2026年4月より、南大阪病院 耳鼻咽喉科に赴任いたしました、弘中まりと
申します。地域の皆さまのお役に立てるよう、精一杯努めてまいります。どうぞ
よろしく願いいたします。



眼科 【専門領域】
眼科一般

ツルハラ ヤスコ
鶴原 泰子

2026年4月より南大阪病院 眼科に赴任いたしました鶴原 泰子と申
します。これまで培った知識と経験のもとに、地域の皆さまのお役に立てるよ
う頑張っております。どうぞよろしくお願い致します。



放射線科 【専門領域】
画像診断一般

ムラタ カツコ
村田 佳津子

2026年4月より南大阪病院放射線科に赴任しました村田佳津子と申します。
放射線科は、院内の各診療科や地域の医療機関の先生方からのご依頼により
画像検査を行う部門です。病気の診断に役立つよう、質の高い的確な画像検査と
詳細な診断レポートの作成を心がけています。地域の皆様には迅速で安全な
検査を安心して受けていただけるよう努めてまいりますので、よろしくお願い
いたします。



病理診断科 【専門領域】
病理診断全般

スガノ テンユウ
菅野 天裕

2026年4月より南大阪病院 病理診断科に赴任いたしました菅野天裕と申
します。病理診断科は聞きなじみのない診療科かもしれませんが、胃カメラや手術
により採取された検体を顕微鏡でみることで、病気の診断を行う診療科であ
り、治療方針の決定において無くてはならない診療科です。迅速かつ正確な
病理診断ができるよう、精一杯努めて参る所存です。どうぞよろしくお願い
申し上げます。



麻酔科 【専門領域】
手術麻酔

カンダ シンヤ
神田 欣也

2026年4月より南大阪病院 麻酔科に赴任しました神田 欣也と申します。これ
まで培った手術麻酔の経験と技術により地域の患者さんに安全で安心な
周術期医療を提供して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



研修医

エノキ ユウキ
榎 悠希

2026年4月より初期研修医として勤めさせていただく榎悠希と申します。
少しでも地域の皆様のお力になれるよう頑張っております。何卒よろしく
お願い申し上げます。



登録医紹介

キノシタナイカ 木下内科



院長
木下幸輔

- 内科
- 消化器内科
- 循環器内科

当院は患者さんの健康維持に貢献でき、気軽にご相談いただける地域のホームドクターを目指しております。患者さんの声に耳をかたむけ、安心していただけるよう、わかりやすく、丁寧な説明、心のこもった医療をご提供いたします。

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:30	●	●	●	/	●	●	/
16:30~19:00	●	★	●	/	●	/	/

●・・・診察・検査 ★・・・火曜午後は18:30まで



[ホームページはこちらから](#)



木下内科

☎06-6682-8255

〒559-0016
大阪市住之江区西加賀屋4-3-5
朝日プラザ住之江公園1階

●大阪メトロ四つ橋線「北加賀屋」駅
3号出入口より徒歩約11分

ヒラノナイカクリニック 平野内科クリニック



院長
平野昌也

- 内科
- 消化器科

肝臓専門医、超音波専門医、総合内科専門医。B型肝炎、C型肝炎、脂肪性肝炎などに対応いたします。その他、内科全般対応いたします。

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	●	/	●	●	/
16:30~19:00	●	/	●	/	●	/	/

●・・・診察・検査



[ホームページはこちらから](#)



平野内科クリニック

☎06-6685-0897

〒559-0013
大阪市住之江区御崎1丁目3-13
ギャレ住之江101号

●大阪メトロ四つ橋線「住之江公園」駅より
徒歩12分



2026年4月度 公開医療講座 開催報告

今回の公開医療講座は2部構成で、放射線科 技師 島田 怜奈より「放射線科について～放射線の歴史と各検査～」、薬剤部 部長 高尾 豊より「多剤併用（ポリファーマシー）とそのリスク」というタイトルで講演がありました。

第1部の放射線科からは、放射線の歴史から始まり、レントゲン検査、CT検査、MRI検査、その他の検査について説明がありました。まず、レントゲン検査が、最新のデジタル技術を活用して以前より病変を見つけやすくなっていることの紹介がありました。さらに、CT検査とMRI検査の原理とそれぞれの検査の特徴から、その使い分けや組み合わせでより精密な診断に結び付ける工夫がされていることなども説明がありました。またMRIについては、その磁力の強力さと注意点を動画を交えて紹介もありました。

第2部の薬剤部からは、ご高齢の患者さんでは様々な疾患を有する方が多くあり、複数の医療機関を受診することで、少しずつ服用薬剤の数や種類が増えることがよくあります。その結果、ポリファーマシー（多剤併用）となり、これにより引き起こされる心身の変化について紹介がありました。薬剤師が患者さんと一緒にできる「おくすりの見直し」について説明がありました。また、各医療機関でもらう「お薬手帳」を一元化して利用することでリスク管理ができること、おくすりのプロである薬剤師からの適切なアドバイスを受けることができる「かかりつけ薬剤師」を持つことで、安全・安心にお薬を服用できることなどの提案がされました。

参加費・
申し込み
不要

公開医療講座のご案内

「聞こえの衰え、放っておいて大丈夫？」
～加齢性難聴と補聴器の話～

【講師】南大阪病院 耳鼻咽喉科 部長 愛場 庸雅

【日時】2026年8月8日(土) 14:00～15:00

【場所】南大阪病院 外来棟1階 多目的ホール

事前申し込みは必要ありません。直接会場へお越し下さい。
日程および内容は急な変更もありますので、その際にはご了承ください。皆さまのご参加をお待ちしています。



病院広報誌「もっとみなみおおさか」 ご意見・ご感想募集

社会医療法人 景岳会 南大阪病院 広報誌「もっとみなみおおさか」のご意見・ご感想や次号以降の掲載内容について募集しております。皆様のご意見をふまえてより良いものになればと思っております。ぜひQRコードから簡単なアンケートにご協力をお願いいたします。

アンケートは
こちらから



バックナンバーは
こちらから
ご覧いただけます。



南大阪病院の公式LINEが できました！



上のQRコードから

ぜひ、お友達登録をお願いします。

南大阪病院の理念

地域からよろこばれ、信頼される病院を目指します。

基本方針

1. 患者様の意思と権利を尊重し、十分な説明と納得に基づく医療を提供します。
2. 常に研鑽に努め、安全・安心で質の高い医療を提供します。
3. 地域包括ケアシステムの中核的な役割をはたします。
4. 医療を通じて社会に貢献するため健全な財務体質を構築します。

看護部の理念

地域医療の中心的病院としての使命と役割を自覚し、
地域の皆様と社会のニーズに対応できる看護を実践します。

基本方針

1. 患者さんの命の尊厳と人権を尊重します。
2. 安全で質の高い看護を実践します。

目標

1. 説明と納得に基づく患者さん中心の看護を実践します。
2. 知識と技術を磨き、豊かな人間性を有する看護職を育成します。
3. 経営への参画意識を高め、効率的な看護業務を遂行します。
4. 職員満足度が高まるよう、職場環境の充実を図ります。

患者さんの権利と義務

患者さんの権利を尊重し、インフォームドコンセント(十分な説明と納得)と自己決定権を大切にされた患者さん本位の医療を提供していくために、当院とひとりひとりの患者さんは、以下のことを確認し合います。

- 患者さんは、人間としての尊厳を尊重されながら医療を受けることができます。
- 患者さんの医療上の個人的な秘密は守られます。
- 患者さんは治療、看護の内容及び病状経過などについて、十分な説明と必要な情報の提供を受け納得のうえ自分の意思で医療を選ぶことができます。
- 患者さんは研究途上にある医療を受ける場合、前もって十分な説明がおこなわれます。
- 患者さんはお互いの療養環境を守るために、定められた諸規則を守る義務があります。



ホームページは
こちらから



社会医療法人景岳会
南大阪病院



受付時間 平日 午前 8:30～12:00
午後 12:00～16:00
土曜日 午前 8:30～12:00

※日曜日・祝日は休診

※曜日によって診療案内・時間が変わりますので、
詳しくは窓口および外来担当表でご確認ください。

住所 〒559-0012
大阪市住之江区東加賀屋 1-18-18

TEL 06-6685-0221 FAX 06-6685-5208

季刊誌:「もっとみなみおおさか」第88号
2026年7月1日発行

発行所: 社会医療法人 景岳会 南大阪病院

発行責任者: 南大阪病院 広報委員会委員長 竹村雅至



編集
後記

広報委員会を担当することで、より良い病院広報を行うためには皆が意見を出し合い、実行していくことが重要で、その中から様々な学びがあることを実感できました。広報誌の改訂もその一つで、当院の広報誌は前号から大きくリニューアルしました。増ページすることで、当院の様々な情報をより多くお届けできるようになっています。是非手に取って見ていただければと思います。

広報委員会委員長 竹村雅至